

株式会社レスターホールディングス

2023年3月期第3四半期
決算補足説明資料

2023年2月9日



2023年3月期第3四半期
連結業績ハイライト（累計）



業績ハイライト

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	296,260	—	367,930	—	71,669	24.2%
売上総利益	22,153	7.5%	31,841	8.7%	9,688	43.7%
販売管理費	16,090	5.4%	18,865	5.1%	2,774	17.2%
営業利益	6,062	2.0%	12,976	3.5%	6,913	114.0%
経常利益	5,520	1.9%	10,652	2.9%	5,131	93.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,416	1.8%	5,893	1.6%	476	8.8%

■ 売上高

引き続き半導体市場の需給状況の強弱があるなか、産業機器や車載機器向けなどの堅調な需要により、半導体及び電子部品事業や調達事業が好調に推移し増収

■ 営業利益・経常利益

営業利益は主に増収に伴う売上総利益の増加により増益。経常利益は為替差損を1,366百万円計上したが増益

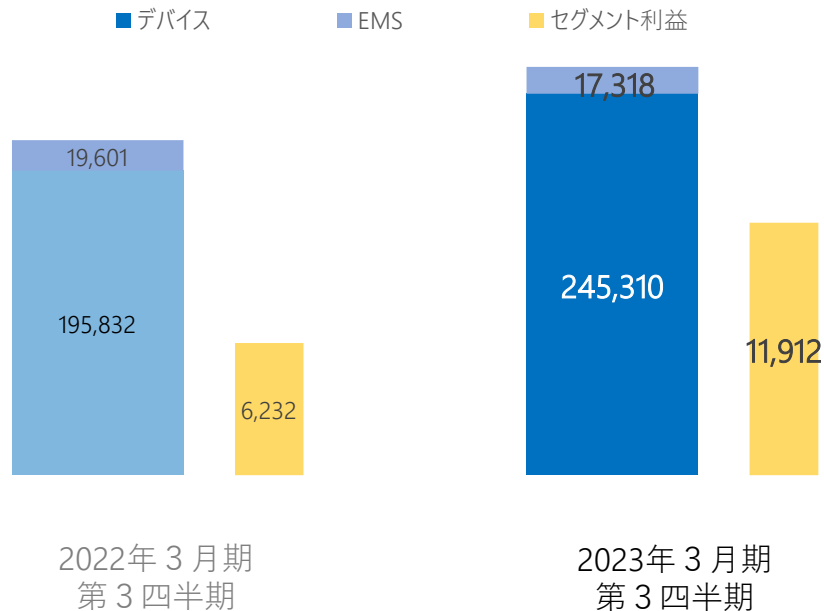
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期には株式会社PALTEK及びその関連会社を連結子会社化したことに伴う、負ののれん発生益1,934百万円を特別利益に計上していた一過性要因が剥落したことや、特別損失831百万円を計上したが、親会社株主に帰属する四半期純利益についても増益



半導体及び電子部品事業

(単位：百万円)

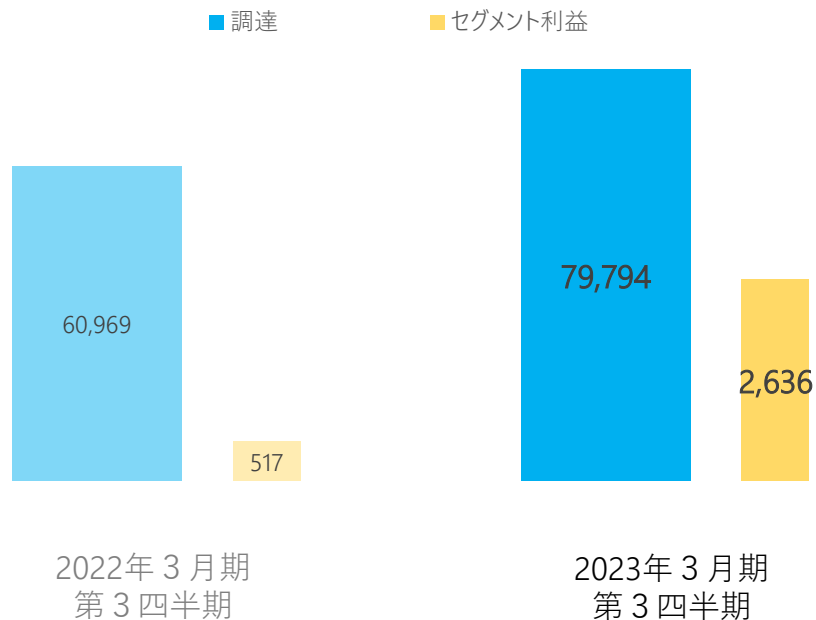


【ポイント】

- デバイス
一部商材の市況に減速はあったものの、産業機器・車載機器向けなどの販売が堅調に推移し、加えて新たな顧客展開と株式会社 P A L T E K の売上伸長による寄与もあり増収
- EMS
量産開始の車載用ディスプレイ向けビジネスの業績貢献があったものの、主力のスマートフォン向けビジネスの低迷により減収
- セグメント利益
E M S 事業の減益があったものの、デバイス事業の増収並びに円安効果などにより増益

調達事業

(単位：百万円)



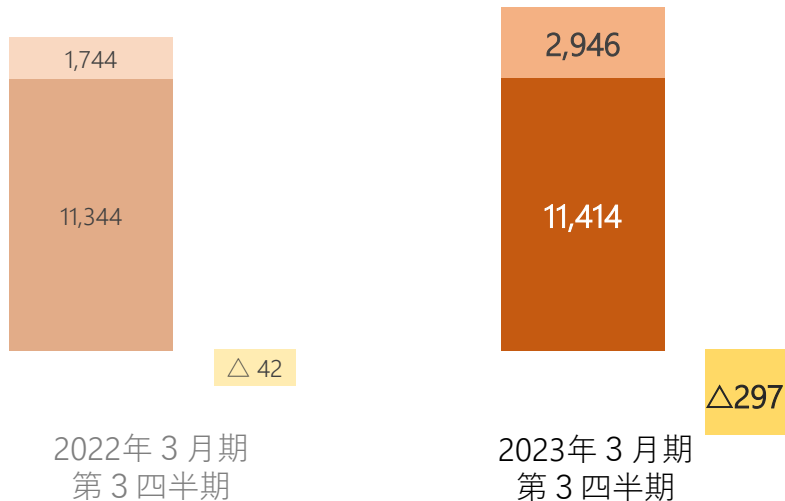
【ポイント】

- 調達
調達事業はパナソニックグループ向け、及びパナソニックグループ向け以外のそれぞれの新規取引の拡大により増収
- セグメント利益
販売管理費の圧縮に加え、円安効果による売上総利益の拡大により増益

電子機器事業

(単位：百万円)

■ 電子機器 ■ システム機器 ■ セグメント損失



【ポイント】

- 電子機器
半導体不足による調達難が続いているものの、オフィス移転に伴うシステム納入や医療向けの伸長もありやや増収
- システム機器
カードサービス株式会社を連結子会社化したことによる海外製決済端末の売上増加、並びにオフィス向け出入管理端末やマイナンバー個人認証関連製品の需要増加により増収
- セグメント損失
増収となったものの円安影響に伴う仕入れコストの増加や、電子機器事業における追加工数による費用発生もあり減益

環境エネルギー事業

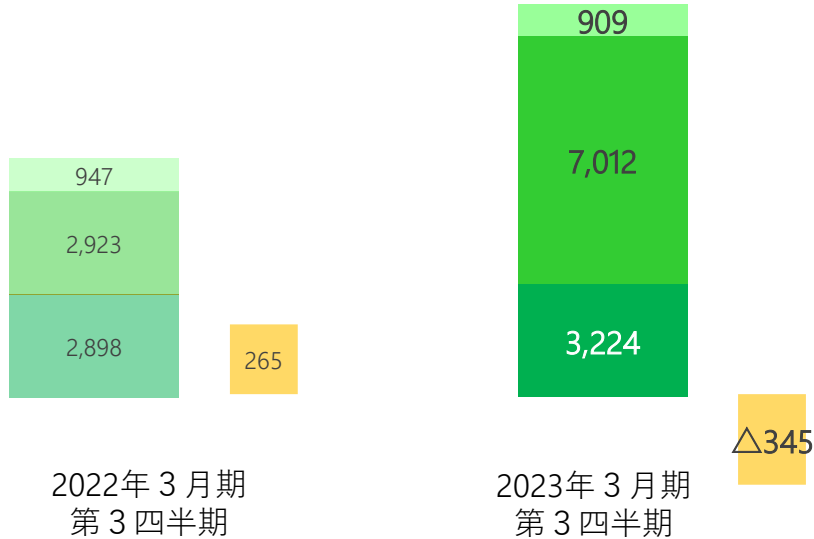
【ポイント】

- エネルギー

国内外の太陽光・風力発電所新設による発電量の増加などに伴い増収

(単位：百万円)

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場 ■ セグメント利益又は損失



	21FY Q3	22FY Q3	YoY	
エネルギー事業(百万円) (新電力への売上含む)	3,819	4,098	279	7.3%
太陽光発電量 (MW)	国内	147	151	4 2.5%
	海外	21	33	12 58.7%
	合計	168	184	16 9.4%

- 新電力

官需向けを中心とした電力需要の増加が継続し増収

- 植物工場

新製品の出荷増があったものの、販売先の見直しなどを進めておりやや減収

- セグメント利益又は損失

エネルギー事業の収益は堅調に推移したものの、新電力事業では期初からの電力調達価格の高騰による損失、及び植物工場事業における電気代高騰の影響などによる損失もあり減益



連結貸借対照表

増収に伴う売掛金、棚卸資産の増加、短期借入金の増加等

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年12月末
資産の部		
流動資産	185,525	226,070
固定資産	56,432	58,473
資産合計	241,958	284,543
負債純資産の部		
流動負債	139,346	175,781
固定負債	20,954	24,544
純資産	81,657	84,217
負債純資産合計	241,958	284,543
自己資本比率	32.1%	28.0%



2023年3月期通期見通しと進捗

通期見通し（2022年11月10日公表）に変更はございません。

単位：百万円	2023年3月期 通期見通し	2023年3月期 第3四半期	進捗率
	金額	金額	
売上高	465,000	367,930	79.1%
営業利益	13,000	12,976	99.8%
経常利益	12,000	10,652	88.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,000	5,893	83.7%

株主還元

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・ 配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・ 積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・ 一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前期配当 (2022年3月期)	45円00銭 (普通配当：40円00銭) (記念配当：5円00銭)	55円00銭 (普通配当：45円00銭) (特別配当：10円00銭)	100円00銭 (普通配当：85円00銭) (特別配当：10円00銭) (記念配当：5円00銭)
今期配当 (2022年11月10日公表)	40円00銭 (普通配当：40円00銭)	60円00銭 (予想) (普通配当：60円00銭)	100円00銭 (予想) (普通配当：100円00銭)



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

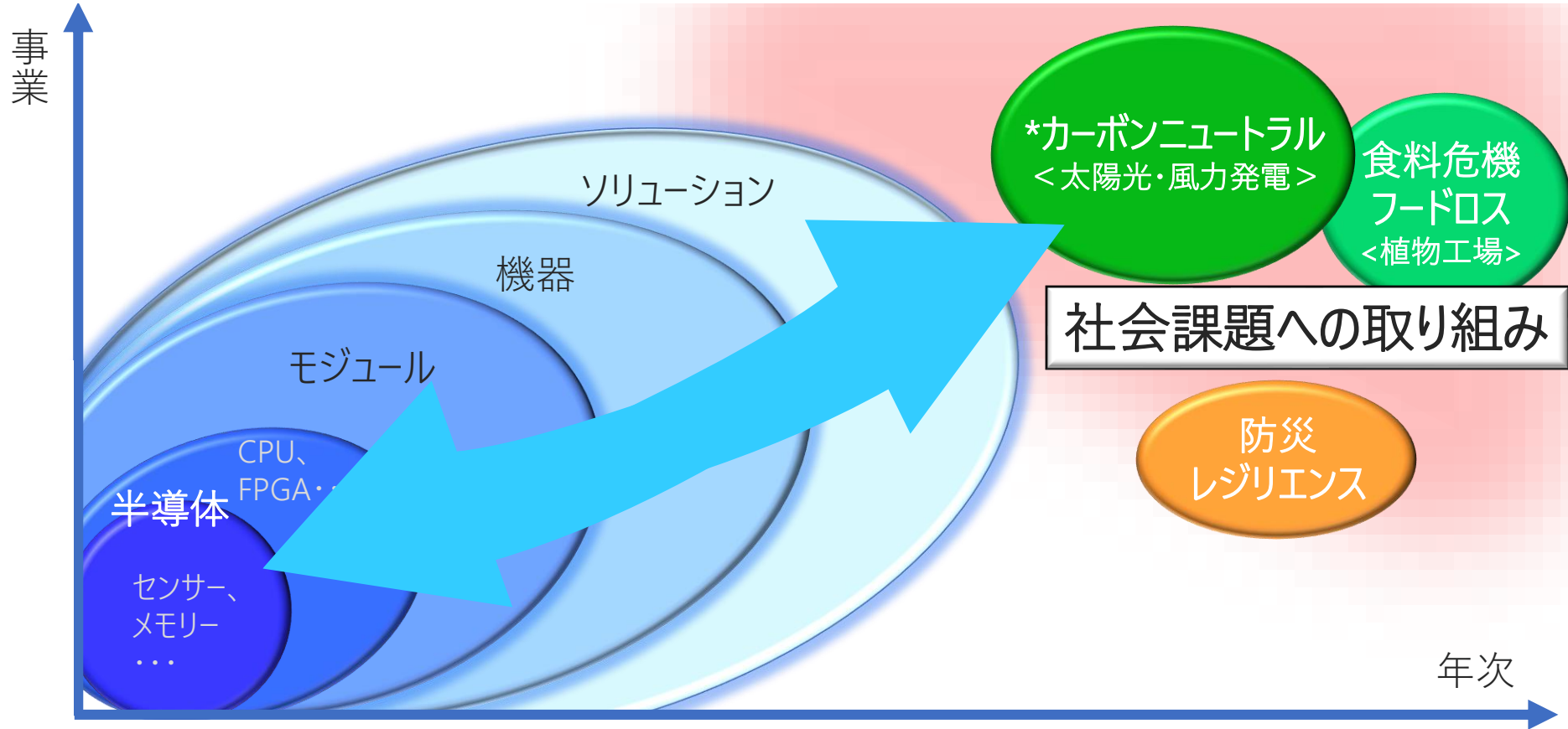
あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します



レスタ-グループの取り組み方向性



*カーボンニュートラル：実質炭素排出ゼロ

エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する。

革新的ビジネス
の創出

情報×技術
付加価値の向上

事業間シナジー

多様な事業展開

1. 新電力事業感謝状授受：世界遺産への貢献
2. デバイス事業ソリューション開発
3. 子どもや地域住民の安全・安心なまちづくり支援
4. グリーンローンによる環境にやさしい社会への貢献

1. 新電力事業感謝状授受：世界遺産への貢献

世界遺産の維持、保全及び脱炭素社会への貢献

新電力事業



日光東照宮など二社一寺



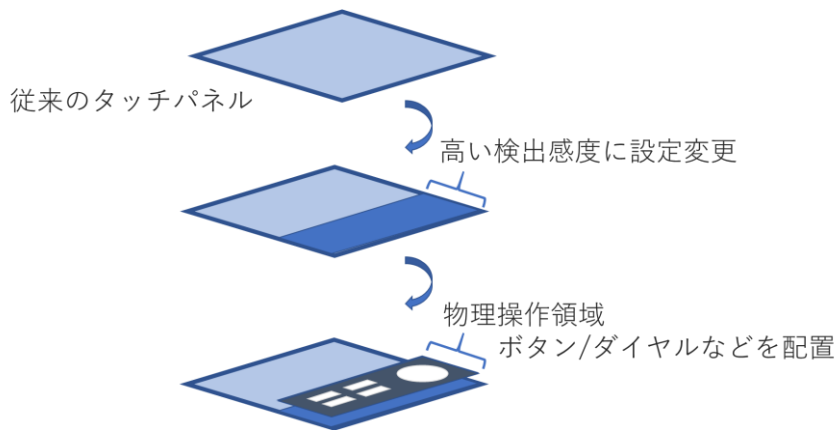
出所：日光市観光協会公式サイト

- 水力発電所の更新と*FIT化への移行支援
- 災害避難所として周辺地域のレジリエンス強化にも寄与

専門性を活かしたコンサルティングで地域活性化とレジリエンス強化推進

2. デバイス事業ソリューション開発

技術開発：タッチパネルに物理的なボタンやダイヤルなどを設置（特許取得済）



産業機器・車載・医療分野へ向け展開

ユーザーの操作性向上、業務効率化を目指す

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://pdf.irpocket.com/C3156/Pyu0/PP0n/ISv.pdf>

3. 子どもや地域住民の安全・安心なまちづくり支援

佐賀県有田町へ「見守りサービス」を提供

システム提供：株式会社otta

自治体と連携し
「見守り端末」配布



出所：株式会社ottaの資料より抜粋



保護者のアプリに
通知&位置確認



通過



運営支援：レスターエレクトロニクス

専用端末や基地
局インフラの調達



運営環境
構築支援



事業説明



各自治体のニーズに応じた住みやすいまちづくりや防災レジリエンス強化の推進

4. グリーンローンによる環境にやさしい社会への貢献

2. 太陽光発電への投資：グリーンローンの活用



(既報：2023年3月期 第2四半期決算発表資料)

新たにグリーンローン締結



■ 本件の概要

締結先	日本生命保険相互会社
契約締結日	2022年12月29日
実行金額	10億円
資金使途 (グリーンプロジェクト)	「茨城県大子町太陽光発電所」 建設資金等

再生可能エネルギー事業の推進、CO2削減とカーボンニュートラルへの貢献

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://pdf.irpocket.com/C3156/fhjD/tLAY/KRFE.pdf>

<お問い合わせ先>

レスターホールディングス 広報・IR部

E-mail : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

